

口吉川地区
市政懇談会資料

令和元年9月19日

市政懇談会出席者一覧

役 職	氏 名
市 長	なか た かず ひこ 仲 田 一 彦
副 市 長	おお にし ひろ し 大 西 浩 志
副 市 長	ごう だ ひとし 合 田 仁
教 育 長	にし もと のり ひこ 西 本 則 彦
総合政策部長	やま もと よし ふみ 山 本 佳 史
総務部長	いし だ ひろし 石 田 寛
市民生活部長	ほり うち もと よ 堀 内 基 代
健康福祉部長	いわ さき くに ひこ 岩 崎 国 彦
産業振興部長	よし おか まさ とし 吉 岡 雅 寿
都市整備部長	ます だ ひで なり 増 田 秀 成
上下水道部長	やす ふく あき ひろ 安 福 亮 博
議会事務局長	し みず さと し 清 水 悟 史
消 防 長	ふじ わら ひで ゆき 藤 原 秀 行
教育総務部長	いし だ ひで ゆき 石 田 英 之
教育振興部長	おく むら ひろ や 奥 村 浩 哉

地区からの意見・提言

口吉川地区

	意見・提言の内容	回答者
1-1	地域の過疎化対策	総合政策部長
1-2	口吉川から無くなる店舗やATMなど生活に密着した事業者の撤退について	
1-4	小売店の減少について	
1-3	地区の高齢化が進んでいる。 このままだと地区が成り立っていかない。	市民生活部長
2-1	口吉川小学校前交差点及び宮前交差点の信号機が、西日が差しこむとき、西進車両の運転手にとって青か赤かわかりにくい。	市民生活部長
2-2	口吉川町公民館から北側へ上がった県道の交差点が危険	市民生活部長
2-3	県道144号(西脇・口吉川・神戸線)拡幅整備	都市整備部長
2-5	②県道の交通安全対策の早急な実現	
2-4	観光、交通インフラ再開発	産業振興部長
2-5	①地域の公共交通の整備、充実	都市整備部長
3	防災に関する河川整備	都市整備部長
4-1	南畑に所在する三木バイオテック(株)から発生する臭いについて	市民生活部長
4-2	地域の環境の件について	市民生活部長
5	中学校再編について	教育振興部長

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言	1-1	地域の過疎化対策（里脇）
<p>（内容）</p> <p>口吉川町は三木市では一番の「過疎地区」であります。店舗もない、近い将来学校もなくなり一層高齢化が進み、山林・田畑も荒廃し、過疎化すると推測される。</p> <p>＜市への提言＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗の建設（道の駅的な施設）を市と口吉川町と協業で進めるチームを発足してほしい。 		
意見・提言	1-2	口吉川からなくなる店舗やATMなど生活に密着した事業者の撤退について（殿畑）
<p>（内容）</p> <p>口吉川町で唯一の物品販売店舗（ローソン口吉川）が6月に閉鎖。過疎化が進む口吉川にとって生活に密着した店舗や事業所の閉鎖は、事業者にとっては収益性が重要視されますが、私たちにとって危機的な状況にあります。店舗の無い町に誰が移住してくるのでしょうか？そんなことを考えると口吉川は危機的な状況にあります。</p> <p>行政として、事業者が事業収入が望めない地域で事業を行う場合、補助金や助成金・税金の控除等の制度を検討いただき、将来多岐にわたり、この口吉川が自然豊かな住み良い町であり続けるよう市の総合計画に位置付けいただき、口吉川町民と行政が一体となり、住んで良かった住みたい町「口吉川」を形成できればと思います。</p> <p>移住環境には、衣食住などの利便性が不可欠です。</p>		
意見・提言	1-4	小売店の減少（東中）
<p>（内容）</p> <p>小売店が減少してしまっていて、高齢者が困っている。便利が悪い。</p>		
回答	<p>（担当課）総合政策部 企画政策課 産業振興部 商工振興課</p>	
<p>現在策定中の総合計画では、人口減少、少子高齢化への対応を進めるとともに、「誇りを持って暮らせるまち三木」の実現に向け、20年から30年先の未来を見据えた今後10年間の市政の羅針盤として、その方向性を示しております。</p> <p>今後、ますます厳しくなると予測される行財政運営のなかで、市</p>		

が新しく土地を取得し施設を建設し運営していくことは、市が抱える公共施設全体のマネジメント面からも難しいことから、既存施設の活用なども含め、行政だけではなく、地域住民の参画、市民協働によるまちづくりが不可欠となります。

そのためには、地域と行政とが担う具体的な役割分担などが必要になります。そういった点について、地域の思いを地域の方と協働しながら形にしていくプロジェクトの方向性を、総合計画の中の基本計画に記載しております。

公民館には、地域のまちづくりを担う地域まちづくり担当の職員がおります。その職員が取りまとめ役となって、口吉川地域内に店舗がないことなどの問題について、まずは区長協議会や市民協議会の皆さまを中心に現状を踏まえた意見交換を行い、課題を抽出し、具体的な先進事例または補助金や助成金の制度といった新たな方向性を研究するなど、本庁の担当職員も交え将来について議論を深めながら検討を行なって参りたいと考えております。

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言	1-3	地区の高齢化が進んでいる。 このままだと地区が成り立っていない。 (蓮花寺)
(内容)		
<p>①地区の高齢化により、たくさんの役職があるが、なり手が少ないので、役職を減らしてほしい。</p> <p>②農業をする人が少なくなっている所以、田んぼの維持管理のしかたをどうすればよいか。</p>		
回答	<p>(担当課) 市民生活部 市民協働課 市民生活部 人権推進課 市民生活部 生活環境課 産業振興部 農業振興課</p>	
<p>① 市から各地区に対し、農業関係では農会長、土地改良推進委員、地滑り防止区域の連絡員、重点整備ため池連絡協力員、人権関係では社会教育推進委員、環境関係では衛生常務委員などたくさんの役職をお願いしているところです。いずれも、それぞれの分野で大変重要な役割を担っていただいております、引き続きの選任をお願いしたいと考えています。</p> <p>しかしながら、高齢化により、なり手が少ないという自治会もあることから、例えば複数の自治会で選任する方法など、自治会の負担軽減について考えていく必要があります。複数の自治会で選任することについては、選任される方の負担が大きくなることも踏まえ、複数の自治会の役職を担うことが可能かどうか地域で協議いただき、意見をまとめていただく中で、市も一緒に検討していきます。</p> <p>② 高齢化、離農者が増えてきていることは、避けて通れない状況で、個人では継続が困難な時代となっています。</p> <p>ほ場整備が出来ているので、今後は、各集落で将来の農業のあり方を考えた「人・農地プラン」の見直しにより、農地中間管理事業を活用して営農組合、大規模営農者に預ける等で営農を維持していくことになると考えています。</p> <p>ただし、ため池、農道、水路などの共同施設の管理は、集落で</p>		

考える必要があります。

また、隣の集落と一緒に営農をする等、広域化の検討も必要と
考えます。市も相談に乗りますので、地域で意見をまとめていた
だき、今後一緒に検討してまいります。

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言	2-1	口吉川小前及び宮前交差点の信号機（殿畑）
<p>（内容）</p> <p>夕方の西陽が差し込んでいいる時に、小学校側の信号が青になったので左折したところ、西進車両と接触しそうになった。西進車両はいわゆる信号無視である。しかしながら、西陽で信号が見えないのも現実です。近年、信号機のLED化が進んでおり、LEDの場合は、西陽が強くても確認しやすい利点があります。口吉川に設置されている信号の内LED化されていないのは、殿畑地内の2か所です。早急に信号機のLED化を進めることが必要です。特に、小学校前については、児童の送り迎えに多くの方が利用されており、安全対策は急務であり、信号機のLED化を要望いたします。（東進車両は、LED化されているが、西進車両側は従来どおり、重要なのは西進車両から見た信号です。）</p>		
意見・提言	2-2	口吉川町公民館から北側に上がった県道交差点（殿畑）
<p>（内容）</p> <p>当該交差点は、数年前に道路拡幅（歩道）工事がなされたが、公民館側から右左折する時に県道を西進する車の確認が道路ミラー頼りであり、雨天時や冬の朝など道路ミラーでの確認ができない。また、特に子どもたちが横断歩道を渡る際には、設置されているコンクリート基礎に取り付けられたガードレールにより西進車両の確認をするには、側道ラインより車道側に進まなければ、安全な横断はできず、道路ミラーは右左折する車目線であり、横断者には効果は無い状況にあります。</p> <p>以上のことから、公共施設（公民館やデーサービス）の利用者等使用する交差点の安全対策は急務であり、信号機の設置を要望します。</p>		
回 答	（担当課）市民生活部生活環境課	
<p>三木警察署交通規制担当に確認したところ、信号灯火のLED化はあくまでも老朽化対策であり西陽に対しての対策ではないとのことでした。</p>		

三木市としては、定例の信号機設置要望と合わせて当該箇所の信号機をLED信号に変更されるよう三木警察署に要望いたします。

県道加古川三田線殿畑公民館西側に設置されているロードミラーは停止線に停止した車両が県道を走行する右方向から来る車両を確認するため設置されたものであり、県道を横断する横断歩行者は目視で安全を確認することになっています。

雨天時や冬の朝、環境によって凍結などで、ミラーで確認できないような箇所もありますが、個別の判断が必要になりますのでご理解願います。

ご指摘の、仮設のガードレールについては、現地を確認したところ、ご意見のとおり子供目線では見通しが悪く、走行車両からも横断者が見えにくい状況でした。このため、管理者である加東土木事務所（県）と相談し、少しでも見通しをよくするために仮設ガードレールを後ろに動かす方向で検討していただいています。

交差点の安全対策は、状況を踏まえ市、道路管理者、警察等で現地確認を実施したいと考えますので、その際にはご協力をお願いいたします。

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言	2-3	県道144号線（西脇口吉川神戸線）の拡幅整備について（大島地区）
<p>(内容)</p> <p>県道144号線 拡幅整備（大島地内）</p>		
意見・提言	2-5	②県道144号線（西脇口吉川神戸線）の拡幅整備について（南畑地区）
<p>(内容)</p> <p>県道144号線の見通しが悪い箇所について早急な改修や事故防止対策を要望する</p> <p>特に、橋の南側急カーブの部分について</p>		
回答	（担当課）都市整備部 道路河川課	
<p>ご意見のあった県道144号線（西脇口吉川神戸線）について、道路管理者である加東土木事務所（県）に確認しました。</p> <p>① 大島地区については、道路幅員が狭小でかつ交通に支障がある箇所と認識しています。</p> <p>② 南畑地区については、平成29年度に通学路危険箇所として通学路交通安全プログラムに位置付け、関係者で現地検討を行い、加東土木事務所（県）が看板、外側線（破線の白線）を整備し、視覚的な安全対策を実施しました。しかし抜本的な対策には至っていません。</p> <p>このため、双方とも、県全体の中で予算要望をしているが、交通量や事業費などを考えると現段階での事業化は難しいとのことでした。</p> <p>市としましても、当該箇所については地域の要望であるだけでなく、交通に支障がある箇所と認識しておりますので、早期の事業化に向けて地域と共に要望してまいります。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言	2-4	観光、交通インフラ、再開発（楨）
<p>(内容)</p> <p>神戸電鉄がテーマの映画が作成され、それを通してインバウンドを期待したという気持ちは見えるが、その状況で三木駅舎がプレハブのままなのはいかがなものか？</p> <p>「来てほしいが楽しませる気はない」というちぐはぐさを感じる。上記の例だけでなく、観光、まちおこしについての半端な例が多いように思う。観光振興課、観光協会は十全に期しているのか？官民一体となれているのか？</p>		
回答	(担当課) 産業振興部 観光振興課	
<p>三木市の観光は、ゴルフ場をはじめ、三木ホースランドパーク、三木山森林公園、ネスタリゾート、山田錦の郷などの大型施設が充実しており、東西南北に繋がる高速道路網の優位性を活かし、主に車での移動で、多くの方々に楽しんでいただいております。</p> <p>また、市観光振興課と三木市観光協会では、市内外で開催されるイベント会場等で三木の魅力をPRするとともに、旅行会社との連携による三ノ宮や明石方面からのバスツアーの誘致、神戸電鉄との連携によるハイキングの開催などを実施しているところです。</p> <p>なお、神戸電鉄は三木市民の重要な移動手段であるとともに、三木駅は三木の顔のような存在であります。</p> <p>よって、三木駅舎の復興を進めるに当たっては、日頃から利用されている方々の利便性の向上を図るとともに、遠方から来られる方へのおもてなしの要素も盛り込んでいきたいと考えております。</p> <p>これらインフラが整う中で、市観光振興課と観光協会が連携し、「おもてなし」を充実させ、さらに三木を盛り上げてまいります。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言	2-5	①地域の公共交通の整備・充実（南畑）
<p>(内容)</p> <p>公共交通の利用に際して、自宅からバス停まで行く交通手段が無い。(最寄りのバス停まで、遠い家では約1キロある。(バス停付近に車や自転車を止めるところがないので、神姫バスを利用したくてもバス停まで行くことが難しい)。</p> <p>みっきいバスなど市が運営するバスの運行ルートを生姫バス路線とうまく連絡するよう、口吉川町全体としてしっかりと検討してもらいたい。</p> <p>また、神姫バスの運行ダイヤについても利便性に乏しい。</p>		
回答	(担当課) 都市整備部 交通政策課	
<p>神姫バス株式会社が運行する路線バスは定時定路線で運行する関係上、所定のバス停で乗降する必要があります。</p> <p>このため、自宅からバス停までの距離が遠いかたがたにつきましては御不便をお掛けいたしますが、御理解ください。</p> <p>口吉川地区においては、地域住民のボランティアのかたがたにより、自宅付近から公民館や最寄りのバス停までアクセスする口吉川ふれあいバスが運行していますので、御利用ください。</p> <p>口吉川ふれあいバスは口吉川ふれあいまちづくり協議会が運行しており、地域に最も身近な移動手段として定着しています。運行ルートなどについて御要望がございましたら、同協議会と協議・検討してまいりますので、具体的に御教示ください。</p> <p>また、北播磨総合医療センターへは、口吉川町公民館を経由するため、公民館に駐車してバスに御乗車いただけますので、併せて御利用ください。</p> <p>現在、市が運営する路線バスはございませんが、バス相互間のダイヤ調整を行い、利便性の向上が図られるよう、引き続き、バス事業者と協議を行ってまいります。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言	3	防災に関する河川整備（里脇地区）
<p>(内容)</p> <p>美囊川が氾濫し、水田等に影響を与えているため、低い土手等の整備を要望する</p> <p>先ずは人命優先(避難判断)として、県の河川監視カメラを口吉川地区(特に大島地区)への設置を要望する</p>		
回答	(担当課) 都市整備部 道路河川課	
<p>美囊川については、県・市ともに洪水対策が必要な河川であると認識しており、加東土木事務所（県）において、平成28年度から溢水(いっすい)等の被害が発生した個所を対象に、河川中上流部治水対策事業(県単独事業)に取り組んでいます。その事業のうち口吉川地区においては、平成28年度に里脇橋下流部、大日大橋下流部の伐木・伐竹を実施したところです。</p> <p>引き続き、現地確認等を実施しながら加東土木事務所（県）へ対策要望を伝えていきたいと思えます。</p> <p>また、河川監視カメラについては、三木市内では本町2丁目の城山橋、細川町西の細川橋の2箇所監視カメラが設置してあります。</p> <p>美囊川上流部には河川監視カメラが設置されていないことから、加東土木事務所（県）へ設置の要望を伝えていきたいと思えます。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言	4-1	南畑の三木バイオテックから発生する臭い(殿畑)
<p>(内容)</p> <p>平成30年度も市政懇談会に提出され、議論された課題です。それ以降、県や市としても行政指導されてますが、わたしたちは嫌な臭いの無いこれまでの環境を取り戻したいんです。</p> <p>定点監視ですが、H30/10からR/1/5までの241日間で不愉快な臭いが発生したのは46日間もあります。</p> <p>この間、事業者としても改善はされていますが、施設のメンテや従業員の臭いに対するモラル・作業手順だけでは、解消困難な問題があります。堆肥工場全体の空調(消臭)システムの設置が必要不可欠です。現在は発酵槽のみに設置されていますが、成熟層と製品置き場は無設置です。</p> <p>さらに、発酵槽の現システムでは、従業員の方々も作業時に換気をしなければ作業できないような状況にあることから、より一層強力な換気システムの設置指導が必要不可欠であり、当該施設を許可した行政当局として、責任を持った対応を要請します。</p>		
意見・提言	4-2	地域の環境の件について(久次)
<p>(内容)</p> <p>堆肥化施設の臭気に四六時中悩まされている方々の心痛を、一日も早く解消して、普通通りの今までの田舎の日常を取り戻せるよう、抜本的な対策を講じてほしい。</p>		
回答	(担当課) 市民生活部生活環境課	
<p>昨年、9月以降、県と市と合同で3回、市単独2回の立入調査を実施し、悪臭の発生原因である発酵環境が改善され、臭気の発生低減が図られるよう監視して参りました。</p> <p>昨年12月と今年3月には口吉川地区区長協議会定例会において、事業者からの状況報告を受けるとともに、市の現状認識と事業者への指導状況について説明をしました。</p> <p>兵庫県及び市の改善指導により、事業者は、一定期間の廃棄物の受け入れ停止、発酵不適物の場外処分、水分量の増加とPHの低下をもたらす液状廃棄物の受け入れ停止などを実施し、湿度上昇など発酵</p>		

過程の改善は概ね図られ、事業者は今年度5月に兵庫県に対し、改善報告書を提出しています。

従って、悪臭の原因の一つであった発酵不適物については解決されたと思われませんが、正常化された過程においても必然的に臭いは発生しており、この臭いがなんらかの原因で施設外に流出しているものと考えています。

そこで、許可権者である兵庫県に対し、今年度7月に施設構造、脱臭装置等の機能について実態把握するよう要請し、県と市と合同で立入調査を実施しました。

市としましては、今後も立入調査を実施するなど臭気の周辺地域への流出防止が確実に図られるよう、兵庫県と連携して指導、監視して参ります。

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	口吉川地区	
意見・提言	5	中学校再編について（保木）
<p>(内容)</p> <p>中学校再編について、星陽中学校を存続してほしい。</p>		
回 答	(担当課) 教育振興部学校教育課	
<p>児童生徒数の減少に伴い、とりわけ、志染中学校と星陽中学校については、小規模化が進み、学習活動や部活動に多くの制約が生じているため、保護者や地域の方のご意見をお聴きしながら、統合に向けた取組を進めてまいりました。</p> <p>平成30年11月に口吉川小学校のPTAにより実施されたアンケート調査において、星陽中学校は小規模化が進んでいるため「再編はやむ無し」や「部活動の選択肢を増やしてほしい」という意見が大半を占めていたとお聞きしております。そのような状況からも、星陽中学校につきましては統合を進めるべきであると判断しました。</p> <p>令和元年8月22日、学校再編検討会議（有識者会議）から喫緊の課題とされる学校の再編について、いつ、どの学校との統合を進めるべきかという提言が示されました。しかし、口吉川地区は、統合相手校について、保護者や地域の方の意見の集約に今しばらく時間を要するため、令和4年度の統合に向け、審議を継続することとなっております。</p> <p>統合後も、地域からのご協力やご支援なしには円滑な学校運営を進めていくことができません。子どもたちの多様な人との出会いや特色ある教育活動、通学の安全確保等に向けて、ご理解の上、ご協力お願い申し上げます。</p>		

<メ モ>

A series of horizontal dashed lines for handwriting practice, consisting of 20 lines.

